

## ADワークスグループ 創業140周年記念プロジェクトとして ネパールにコーヒー植樹を実施

～有志の若手社員が発案 コーヒー栽培を通じた持続可能な地域づくりに貢献～



写真：合同会社BIKAS COFFEE

投資用不動産事業等を手掛ける株式会社ADワークスグループ（所在地：東京都千代田区、代表者：代表取締役社長 CEO 田中秀夫）は、創業140周年の記念プロジェクトの一環として、ネパールでコーヒーの植樹を実施します。

当社では創業140周年を迎えるにあたり、節目を祝うだけでなく、次の10年、そして150周年に向けた新たな価値創出のきっかけとなる施策を検討してきました。本プロジェクトを通じて、コーヒー栽培に取り組む地域経済への貢献をはじめ、当社のビジョン「富の循環を創出し、誰もが心に火を灯せる社会をつくる」の実現を目指します。

### 1. 身近な「コーヒー」から社会課題を考える

コーヒーは多くの当社社員にとっても日常的に親しまれている身近な飲み物です。一方で、森林伐採や、それに伴う気候変動などにより、将来的な生産量の減少が懸念される「コーヒー2050年問題」も指摘されています。本プロジェクトでは、身近なコーヒーを切り口として、環境や社会課題について考えるきっかけを創出するとともに、持続可能なコーヒー栽培を支援する取り組みとして採用しました。

本取り組みでは、植樹から約3年後に、収穫されたコーヒー豆が寄付者へ届けられます。植えて終わりではなく、コーヒーと会社の未来を想像し、思いを馳せることができる点も、本企画の特徴の一つです。

## 2. ネパールで取り組み広がる持続可能なコーヒー栽培

本プロジェクトは、ネパールコーヒーの栽培と販売を手掛ける合同会社BIKAS COFFEE（所在地：東京都文京区、代表者：菅勇輝、以下「BIKAS COFFEE」）を通じて実施しています。当社では、2025年にBIKAS COFFEEによる社内講座を実施し、コーヒー産業が抱える社会課題について社員が学ぶ機会を作りました。社内講座をきっかけに、コーヒー栽培を通じて社会課題解決を目指す同社の取り組みに賛同した社員らが発案し、創業140周年記念プロジェクトの一環としてコーヒー植樹を実施することとなりました。

ネパールはコーヒーの新興産地であり、山岳地帯を中心に栽培に適した環境を有しています。BIKAS COFFEEでは、森林を伐採して大規模農園を開発するプランテーション型ではなく、既存の森林環境を活かしながらコーヒーを栽培するアグロフォレストリー農法を推進しています。自然環境を守りながら日常に欠かせないコーヒーを栽培するという挑戦に多くの社員が賛同しています。



## 3. コーヒー植樹がつなぐ「富の循環」

一方で、ネパール農村部では若年層の海外出稼ぎや、それに伴う農業従事者の高齢化が社会課題の一つとなっています。本プロジェクトは、ネパール現地において、農家の副収入創出や若者の雇用機会の拡大に寄与します。

植樹から約3年後には、寄付者に対して植樹したコーヒーの木から収穫されたコーヒー豆が届けられる予定です。単なる寄付や植樹活動にとどまらず、現地の生産活動



▲社内で開催した試飲会の様子

を支えながら、その成果を寄付者自身が受け取ることができる仕組みは、まさに「富の循環を創出する」取組として当社とBIKAS COFFEEが共通して目指すビジョンを体現しています。

当社は、本取り組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、会社と社員とのつながりを深め、140周年をきっかけとした組織活性化につなげてまいります。

### ■ADワークスグループ140周年 コーヒー植樹 概要

- ・実施日：2026年8月末頃
- ・実施場所：ネパール ダリンボット村、ニルマールポカリ村
- ・植樹本数：30本（当社名義で10本、社員・役員ら個人名義で20本）
- ・個人出資者数：50名
- ・総事業費：148.6万円

■担当者による記念植樹、140周年への思いについてのインタビューはこちら

“コーヒー植樹”を通してビジョンを体現したい！

創業140周年を迎えた不動産会社で若手社員が描く未来とは

<https://prtimes.jp/story/detail/Bnpw5dSpJAr>

以上

本件に関するお問い合わせ：

株式会社 AD ワークスグループ

ブランド&マーケティング戦略部 広報担当

E-mail：pr@re-adworks.com